

キラリ
輝いています!



さとう
佐藤

しゅんぺい
駿平 くん
(毛呂山中学校)

今夏、いちばん高く跳んだ中学生



1m99cmで全中制覇

町内から、陸上競技の日本一が誕生した。毛呂山中学校3年の佐藤駿平くんだ。

佐藤くんは、8月18日〜21日に札幌市で開催された「第42回全日本中学校陸上競技選手権大会」の男子走り高跳びで優勝した。走り高跳びは、目線より遥かに高いバーをわずかな助走だけで跳び越える種目。決勝の舞台で、1度のミスも無く1m99cmを跳んだ佐藤くん。その身長は1m74cm。25cmも高い空を、身ひとつで跳んだ。

「決勝では自己ベストに挑戦したんですが失敗しました。けれど、ずっと憧れだった全中の舞台で優勝できて、とても嬉しいです。」と振り

返るが、実は決勝前は不調だった。「本番になると調子が上がってききました。跳んでいるのが楽しかったです。」

次はJOCで新記録

走り高跳びを始めたきっかけは、毛呂山町と越生町の小学5・6年生が出場する、越生班の体育大会。「2回とも、たまたま走り高跳びに出たんですが、その時はうまく跳べなくて、すごく悔しい思いをしました。」そして中学では迷わず陸上部へ入部。それから2年半、走り高跳びに打ち込んだ。

「部活では先輩との競い合いが一番楽しかった。走り高跳びをしていて一番楽しいのは、自己ベストを更新したとき。」佐藤くんは部の先輩や仲間と切磋琢磨して、大きく成長した。

「これからどんどん自己ベストを更新したい。目標は中学男子の日本記録2m10cmを越すことです。記録を塗りかえて、指導してくれた先生や、お世話になった先輩に恩返ししたい。」頑張ります。

佐藤くんは今年10月のジュニアオリンピックに、出場が決まっている。